（別記様式第１２号）（第３の８関係）

（松本地域）

令和７年度　地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	野溝箒振興事業
事業主体 （連絡先）	野溝箒振興会 （松本市野溝東２丁目１０番１号）
事業区分	教育文化の振興
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	６００，９２２円（うち支援金：４０４，０００円）

事 業 内 容

地域産業であった「野溝箒」の伝統文化継承と地域活性化を目的として次の事業を実施。

・材料のホウキモロコシの種まきから収穫までの体験と加工体験を行う公民館講座を開催：４月～１２月
・小学校のスクールファームや総合学習事業での指導・支援（種まきから収穫・箒の製作指導）：５月～１２月
・地域住民との協働・交流による事業活動運営と担い手の育成：５月～２月

材料の栽培や箒製作時に必要となる機材を共有できるよう倉庫を設置した。また、展示・販売を通じた情報発信ができた。これらにより「育てる・作る・伝える」を一体化した事業を展開した。

【スクールファームの草取りの様子】

【目標・ねらい】

①ホウキモロコシの栽培から製作までを体験できる機会の創出
②地域住民・関係団体との連携強化による活動基盤の構築
③地区外への情報発信を通じた認知度の向上

事 業 効 果

①芳川地区の魅力発見と教育力の向上
・芳川小学校、開明小学校との連携により総合学習の授業に取込むことで児童の「考える力」の醸成につながった。
・箒振興会のメンバーが播種、疎抜き、収穫に一緒に取組み、野溝箒について説明することで伝統文化の継承と世代間交流につながった。

②　野溝箒振興会会員数 24 人→26 人【目標：30 人（R9)】
③　野溝箒の製作者 2 人→5 人【目標：10 人（R9)】
④　栽培圃場の拡大確保 4a→8a【目標：1ha（R9)】

※自己評価【　B　】

【理由】
・小学生も含め、継続的な学びの機会と参加者の理解・関心の向上につながった。
・倉庫の整備などにより継続的な取組ができるようになり、認知度向上にもつながった。

今後の取り組み

・デザインの異なる箒の製作指導などにより、時代に合った箒の活用術の向上を図り、より魅力ある事業へ発展させる。
・イベント等を活用し、地域外への認知拡大を目指す。
・箒の材料の安定的な確保と「野溝箒」という付加価値を高め、販売促進を行い、補助金に頼らない持続可能な運営体制の構築を進める。
・　学校や地域団体との連携をさらに強化し、地域全体で支える事業へと発展させる。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。
「Ａ」：予定を上回る効果が得られた　「Ｂ」：予定していた効果が得られた
「Ｃ」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある